

メーリングリスト委員会から

委員長 和田豊郁

第8回 「ネット上でのことば遣い」

韓国では近年若い芸能人が何人も自殺しています。人気絶頂の彼らがなぜ？と誰もが驚くのですが、共通して、過激なネット上の書き込みが続いたことに気を病んでいたといえます。

ネット上の問題を周辺の人が知らず、誰も相談に乗らなかったというわけでもないのに自殺を選んでしまったのです。相談の決まり文句である『気にするな』は想像以上に強いネット上の書き込みの持つパワーの前に屈してしまったのです。

耳から入る言葉は『何だって？意味がわからん！』と言下に理解を拒否することもできます。しかし、活字で訴えられたらどうでしょうか。グリコ森永事件の『かい人 21 面相』の新聞の文字の切り抜きを使った脅迫状はなにがしかの不気味な迫力があつたのは、活字だったからではないでしょうか。

20 世紀生まれの多くの人々は、活字は教科書、新聞、雑誌、書籍といったプロの作家が書いたものであって、一字一句あるいは行間を読むことが読解力として教育されてきたものでした。活字を見ると、自分より上の立場にいる人という潜在意識がすり込まれているのです。

インターネットの普及により、誰もが手書きのへなちょこ文字ではなく、活字で意見を表明することができるようになりました。『テキトー』に書かれたものでも読み手は読解力があだとなり深刻に読んでしまいます。

『馬鹿も休み休み言え』と耳で聞いても深刻に受け止められないことも多かろうと思いますが、活字で送りつけられて来ると動悸がして頭がクラクラするでしょう。でも、口に出して読んでみるとたいしたことないことがわかるのですが...

亡くなった韓流スターが声に出して読んでいたら、全く違う結果になったのではないのでしょうか。

パソコンを楽しもう

講座運営委員会委員長 中丸哲子

講座名 「なんでも相談コーナー」

「パソコン雑学講座」＝「パソコン便利屋講座」です。「PCの動作不良」「メンテナンス」「ウイルス対策」などを実施しています。「ワード」「エクセル」「パワーポイント」なども実施しています。

○講師 新田辰生

○実施日時 毎週火曜日 15:00～16:50

○内容 メール全般、ワード・エクセル、パソコンの操作等簡単な画像処理、ウイルス対策などが出来ます。右はいくつかの例です。

- ・「デスククリーンアップ」「デスクデフラグ」指導
- ・文章をスキャナーから読み込み「文字化」する方法（入力の手間が省けます）
- ・デジカメ撮影の画像をプリンターで印刷する方法
- ・パワーポイント作成の準備
- ・画像処理(ブログやホームページに使うための処理)
- ・フリーソフトのダウンロードとインストールの方法
- ・アプリケーションソフトのインストールなど
- ・インターネット回線での「格安航空券」購入検索
- ・住所録作成・・・エクセルからの変換 etc

報告

- 水の祭典 8.4 久留米市内 赤いTシャツでパレードに参加
- 流し灯籠 8.15 筑後川（水天宮下） 早朝会場準備、夕刻にかけて本番となり 翌日 8.16 早朝から灯籠の清掃、処分
- 櫛原天満宮夏祭り 8.25 へ参加 チッゴアミーゴス&サザエさんチーム 地域の夏祭りへ参加、好評を博す
- 特別講座：「PCの基礎からセキュリティまで」 9.11 電気の性質、パソコンの大まかなしくみ、プログラムとOS、フォント、文字コード、ファイル管理、通信＝リモート、セキュリティなど、会場は満席の盛況

予定

- にこにこステップ運動、10月から（8回）後期開始
- 教育支援活動 京町小学校、10月から2学期始まる 算数のチャレンジタイム：2、3年生対象
- 芋煮会 10月17日 会場：筑後川河川敷
- 秋の交流会 11月14日 会場：ホテルニュープラザ
- 「幼い子を守りましょう」幼児保護条例化運動勉強会は久留米市議会へ向けて請願の準備を進める。

お知らせ

報告：花咲かせプロジェクト

第1回高良大社訪問調査 : 9月20日
高良大社、竹間宗磨宮司の講話 参加者 10名
実行委員会を6月から数回経て、訪問先打診高良大社（竹間宮司）にお願いする。

- 講話は、宮司の自己紹介、大社を取り巻く環境 宗教法人とその規制。行政との歴史的関係
- 高良大社の建造物、幣殿、拝殿・石造大鳥居・御手洗橋・大杉の赤鳥居
- 高良大社の宝物 お祓いを受け本殿に昇り、幣殿・拝殿の天井絵鑑賞 3基のお神輿など特別に拝観
- 御井町地区地元の歴史・文化活動との関係について
- 意見交換
- ・絹本著色高良大社縁起（県指定文化財） ...26ヶ寺 360坊、1000余名の僧徒の賑わい、の記録
- ・高良大社の活動を崇敬会など諸グループの支援。
- ・今の教育に欠けているもの、社会参加を促す。

（あとがき）シニアたちは今日の社会に曖昧な不安を感じている。人は尊厳をもって生きる社会を考えている。私たちに出来ること、後世の人に役立つこと、SNKは確かな1歩を踏み出した（式）



編集・発行
NPO シニアネット久留米
理事長 今津一躬
久留米市荘島町 13-1
TEL 0942-46-2277

花咲かせプロジェクト

事務局長 金子忠次

私達の住む筑後平野には、素晴らしい歴史と文化が残されています。代々受け継がれてきたこれらの文化や文化財、歴史やその遺構を私たちは大事に守っていく責任があります。その責任を果たすべく、筑後平野に残されている歴史や文化を保存・継承していくため「筑後の歴史・文化の花を咲かせんかい」プロジェクト（略称「花咲かせプロジェクト」）をSNKは立ち上げました。

筑後の歴史文化を守るには、私達SNKの中だけでできるものではありません。皆さんの積極的な参加を得て、地域と結び合う活動『つなぐ』ネットの構築にあります。地域に散逸する文化遺産の収集と整理と保存、情報を後世に継承していくためのネットワークの構築は大事業です。

SNKデジタルアーカイブは、国立国会図書館に登録された貴重な財産であり誇りにしています。現在、第2期グループがその活動を継承しており、「花咲かせプロジェクト」は「デジタルアーカイブ」活動を大きく発展させ、書物のデジタル化や歴史的物事の紹介に止まらず、外部の人的ネットワークの構築『つなぐ』を実現し、歴史文化の詳細デジタルマップを作成しようというものです。

従来のSNK活動は、殆どがSNK内部の活動に終始してきました。今度初めて会員外の地域の皆さんを巻き込んだネットワーク作りに挑戦します。さらには最新の情報技術を使つてのマップ作製に挑みます。SNKでは、これに参加していただける皆さんの参加をお待ちしております。

筑後平野に残された歴史、文化の情報を持つ方々の人的ネットワークをつくること。目標は、SNKの持つ情報技術を使つて『筑後の歴史・文化に関するデジタルマップを作製する』にあります。なお、この活動はSNKのホームページでも随時、紹介していきますので参考にしてください。

私の1枚+1枚 堤康郎



久住長者原のタテ原湿原にはヨシ、アカバナ、ミズゴケ類の群落が広がる。ラムサール条約登録のタテ原湿原内には、木道が整備され、ヨシの繁る原や山の紅葉も楽しめる。写真はルリタマアザミ(ヒゴタイ)に留まったアカネトンボ

創立 : 2000年9月
 名称 : 「英語で歌う会」
 当初「ゴスペルを歌う会」として発足、2003年名称変更
 会員数 : 会員数30名 リーダー: 深町保介
 練習会場 : 久留米市本町 無量寺
 歌指導 : 矢野紋子(SNK 会員)先生

特集 英語で歌う会

すべて英語で皆が知っている歌を練習します
 英語の発音が良くなります(楽譜は有ったりなかったり)
 会員となる資格は、明るく元気に楽しく歌いたい方

シニア生活を楽しむ、いい仲間に出会って楽しくやっています。ご一緒しませんか。

- スージー先生の教え方が上手であること。
- 習っている生徒さんが私を含め上品でいい人ばかりであること。(笑い)
- 持ち寄りパーティー(ポットラックパーティー)が楽しい
- 年に数回近郷のイタリアン、中華、レストランなど楽しい食事会があること。
- カラオケ大会があること
- 英語の発音が上手になること。(まっこと、そー〜??) : 会員一同



ピアノが軽やかに響きあうと、男女のハーモニーは美しく聞こえる。室内壁の阿弥陀さまは荘厳な顔をして、厳肅にこの音楽を聴いている。右は指導のスージー先生



練習風景: 発声練習や発音の注意など、夜更けとともに会は盛り上がってくる

参加しているみなさんの声

金子忠次さん

「英語の…歌う会」に乾杯！ 我ながら10年もよく続いていると思っています。ドンキーさんの絶大な集客力に助けられましたね、それと、スージーさんの献身的な姿があって、やめるにやめられなかった、というのが本当のところだったように思います。最近では他の合唱団で歌っている方がたくさん入ってきて時々ハモったりするので、昔の5~6人の時代のことを考えると隔世の感があります。

寺崎万寿美さん

歳を忘れ、家のことも忘れられる楽しい時間です。いつも笑いの絶えないとてもいい雰囲気です。それに、英語で歌える曲が増えていくのが嬉しいです。歌って笑って、帰りは、気分爽快です。

井手元子さん

ドンキーさん、スージーさんのお陰でいつも笑いの絶えない歌とお楽しみ会の会です。レパートリーも増えハーモニーもつけたりして何処でも歌いたいです。何しろ発声練習が「ミーミーミー」と蟬の声♪~セミプロみたい、なんですか？

広津芳信さん

この会が始まって間もなくの頃、ゴスペルとはどんな歌じゃろうか、いっぺん聞いてみようかと、持ち前の好奇心からノコノコと無量寺に出かけた。いきなり入会したが練習以外のポットラックパーティーなど、みなさんと話せる時間が楽しく今に至っている。

のりピーさん

矢野紋子(スージー)先生、のりピー(北九州在住)、深町の3人でゴスペルみたいな歌を歌う会をやるよと始めて早10年になります。スージー先生やドンキーさんの努力のたまもので、「英語で歌う会」がどんどん進化しているのがよく分かります。

寺松保憲さん

その頃会員拡大に一生懸命だった私は、某仲間から『その会の事務局長をしているぐらいなら「上を向いて歩こう」の英語バージョンぐらい歌いきらないかんばい』と言われて、まだ無量寺のお堂の隅でわずか5~6人でスージー先生から習い始めたのです。そして「上を向いて歩こう」の英語バージョンを習い始めたのですが、どんどん深みにはまっていき今日に至っております。

馬場亮二さん

歌の好きな人が集まっているから全体のレベルは高い。その証拠に、相手の歌を聞きながら歌う質のよい合唱となっている。英語の発音が良いのは皆さんの耳が良いからだ。初めての曲に取り組むとき、皆さん全員で英語のスペルを読み発音の練習をする。らしく聞こえるための発音にも気を使っている。質を高く維持する最大のポイントは、指導するスージーさんの絶対音感が良いからだ、と思う。

御挨拶

リーダー: ドンキー深町(深町保介)

矢野紋子(スージー)先生、のりピー(北九州在住)、深町の3人でゴスペルみたいな歌を歌う会をやるよと始めて10年になります。無量寺での音楽催しを見て、会場探しは住職に頼みました。歌の会を始めたい、と申し出て快諾頂きました。

当初の5~6年は、参加人数も5~7人程度で細々と諦めずに、少しづつ英語の歌を、カタカナのフリガナ付きで歌っていました。歌は下手でも好き物が集まっているので、楽しいし元気の出る会を続けていました。

4年程前から、次第しだいにメンバーが増え、現在では常時20~25名が揃い、2~3パートに分かれハモれるようになってきました。月2回の練習日は朝から気持ちがスキップしています。

以前は楽譜の読めない判らないメンバーがほとんどでしたが、今はメンバーの半分はおたまじゃくしを理解されているようです。会費は500円で月に2回練習をしています。会の維持費を使い、会費の余りはポットラック(持ち寄りパーティー)やカラオケ(持ち出し)に利用してみんなに喜ばれています。

1・現在のメンバー構成は男性55%、女性45%です。

駄洒落が飛び交う練習風景を見に来て下さい。

最初の見学は無量寺だけに 会費 無料です。

2・通常例会は月2回(年間スケジュール) 月曜19:00~20:30
 練習は、ピアノを取り囲むようにメンバーが椅子を並べ、提示された曲に合わせて歌が始まります。

スージー先生の手指が自然に動いて軽やかにピアノが歌う? いや心地よいピアノに響きあって、ソプラノ、アルト、テノール、バスのそれぞれの美しいハーモニーが重なります。声出しは音階を変えて全員でハモル「Mi-, Mi-, Mi-, …」そのとき、お寺のこの部屋いっぱいには声は響きあって空気は震えているようです。

3・その他活動: 年2回のポットラックパーティー(持ち寄り)
 年2回の持ち出し食事会(モンテパラティーノ)
 年2回の持ち出しカラオケ会
 年1回無量寺コンサート出演
 年2回SNKオフ会出演

4・最近、楽しく歌っている主な曲目は
 アメージンググレース、千の風になって、エーデルヴァイス
 カントリーロード、スキヤキ、翼をください 聖者の行進
 ケセラセラ、花は何処へ行った、ユーアー マイ サンシャイン
 Sing, Joyful Jyoyful etc

…すべて英語で、皆が知っている歌を練習